

烏山地区が被災したら?! イベントに参加

2013年11月23日
烏山区民センター前広場

記 大脇 秀雄

・あおぞらワークショップへ参加



健全者、車いすの方、聴覚障害者、視覚障害者の方が参加
発表風景

各テーブルでは、①から④テーマを一つを選び、話し合いをします。
20分後には、一人を残し、別のテーブルへ移動、再度、テーマを選び、話し合いをします。
最後は、各テーブルで、テーマ毎に、発表します。

テーマ:

- ①隣近所のつながり
- ②知らない人と仲良くなりコミュニケーションをとる方法
- ③「助けてもらう」ための工夫
- ④烏山区民センター前広場使い方

各テーブルの発表内容:

・ テーマ②

日頃からのコミュニケーションが取れる場→イベント?

イベントの参加している人は、日頃からコミュニケーションが出来ている人が多い

イベントの参加していない人とどうするかが大切→挨拶!!

近所のつながりが大切

挨拶→ゴミだし

花壇

犬の散歩

町内会・自治会

きっかけ作りは「あいさつ」が有効→自ら積極的な声掛け

日常のコミュニケーションは、自らの発信につながる

- ・ **テーマ①**
聴覚障害者は避難所で何をする
みんなに知ってもらう→段ボールに描く
自分を知らせる→自ら行動する→あいさつ

- ・ **テーマ③**
厚かましくなる→テーマ1, 2必要
近所で知っているが話したことがない

1. 話をする
2. 聞く
3. おせっかいをやく

仲良くなる・つながる

フザー・ホイッスル・ヘルプカード→持っておく

- ・ **防災士から**
一人暮らしの人とのコミュニケーション
自分の困っていることを伝える(事前に話して置く、地域の人知ってもらう)
日常の延長

ワークショップで、選ばれたテーマは、コミュニケーション系が最も多く、

人との繋がりの大切さが大事であることを認識した、内容となっています。

防災グッズコーナー

菊池さんから防災グッズを見せていただきました。
よく見かけるグッズより、珍しいもので、あると便利なものを展示、説明会。
ペットボトルから、トイレ・スコップ・水をろ過できる、ものづくりが、良いか。



パタパタしないスリッパ



トイレ



コンロ・バケツやいすになる缶